

## 町政懇談会で出された主な質問・回答 (除染等に関する意見抜粋)

開催期間：平成28年1月30日～2月25日まで（述べ24回開催）  
参加町民：428名

### 【除染等に関すること】

- まだまだ空間線量が高い箇所が存在する。線量が高い箇所はもう一度除染して安心して住めるような再除染を検討願いたい。（町内でも北西部の住民からの要望）
- 河川敷の除染も要望して欲しい。
- 通学路のモニタリング結果から追加除染箇所はあるか。
- 里山除染（森林除染）の範囲はどこまでの範囲なのか。
- 池の除染はしてもらえないのか。
- 木戸ダムの除染は継続して要望していくとしているが今後の方針は。

### 町の回答

- 空間線量率の高い箇所は、国が目標とする年間の追加被ばく線量1ミリシーベルトに向け要望していく。
- 河川敷の除染には昨年から着手しており、人の立入が多そうな場所を対象としている。
- 通学路の追加除染には実施中。町独自の歩行サーベイも行っていく。
- 里山除染については範囲等明確になっていない。
- 池の構造によるところであり、現地の確認を行う。
- 木戸ダムの底質除去は環境省・復興庁へ継続要望していく。

### 【仮置き場に関すること】

- 学校再開までに除染仮置き場の廃棄物はなくなるのか。学校再開までに片付けないと帰らないと思う。
- 町内に設置されている24箇所の仮置き場はいつの時点で無くなるのか。そのような状況で農作物を作りたくても作れない。
- 仮置き場の契約時には3年という約束で契約した。現在5年目となっている。農地の安全性は全面積耕作し安全とわかると思う。一部の試験耕作でなく全面積耕作の結果を確認すべき。

### 町の回答

- 中間貯蔵施設の建設が進んでいない。仮置き場の安全性については町民に監視していただいている。
- 町内で作った農作物が売れないということのないようにしたい。地区によっては、花卉栽培などの施設栽培により農業再開していく地区もある。
- 国には問題を解決していくよう要望していく。

### 【積算線量計に関すること】

- ガラスバッジの積算線量については檜葉町に1年間居住した結果なのか。
- ガラスバッジは普段身に着けなければならない。朝から晩まで身に着けている人はいないのでは。

### 町の回答

- 檜葉町内に居住している町民もいれば、通っている町民もいる。
- 普段から身につけている人、バッグの中に入れて持っている人もいる。また檜葉町に戻った時に置きっぱなしにしている人も多くいる。そのような人は実際の数値ではないと思う。是非身につけてほしい。

### 【減容化施設（仮設焼却炉）について】

- 波倉の減容化施設について、廃棄物が運び込まれて、いつ無くなるのか。

### 町の回答

- 減容化施設は10月に完成し11月から稼働予定。焼却した廃棄物の濃度によって搬出先が変わってくる。建設から解体までの期間は約5年という予定である。中間貯蔵施設及びフクシマエコテック側の整備状況による。

### 【その他】

- 水の放射性物質検査については、ストロンチウム90の検査を実施して欲しい。

### 町の回答

- 町として検査を実施していく。